

令和 5 年度 新規(拡充含む)事業要旨

こども家庭・保健センター

事業名	事業要旨
施設機能拡充 こども家庭・保健センター の設置(令和 5 年 4 月 1 日) 【新規】	令和 5 年 4 月 こども家庭庁の創設に合わせて、こども家庭総合支援拠点（児童福祉）と子育て世代包括支援センター（母子保健）の機能は維持したまま、「妊産婦」、「子育て世帯」、「こども」を一体的に支援を行う機能を有する「こども家庭センター」を芦屋市は、1 年前倒しで設置することで、法が施行された時点で円滑な事業実施を目指して、「こどもまんなか社会」の実現に向けて予防から自立まで一貫した支援を実現する。 「子育て支援センター」+「保健センター」 ＝こども家庭・保健センター(こども家庭センター)
健康づくりプランあしや （第 4 次芦屋市母子保健計画・健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画）の策定【継続】	「みんなで健やか 元気なあしや」をめざし、本市における健康づくりや食育活動、自殺対策の施策を総合的、計画的に推進するため、令和 6 年度から令和 11 年度までの 6 年間を計画期間とする健康づくりプランあしや（第 4 次芦屋市母子保健計画・健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画）を令和 4 年度、5 年度と 2 か年かけて策定するもの。
新生児聴覚検査費用助成事業【新規】	聴覚障害の早期発見・早期療育を図るために、新生児聴覚検査を実施することが重要ではあるが、新生児聴覚検査は医療保険対象ではないため、経済的負担が理由での未受検者をなくすことを目的とし、非課税世帯に属するものに対し新生児聴覚検査費の助成を行うもの。 1 公費負担額 診査費用のうち 1 回あたり 5,000 円を上限に助成 2 検査方法 自動聴性脳幹反応検査（AABR）、聴性脳幹反応検査（ABR）、耳音響反応検査（OAE） 3 助成方法 償還払い
胃がん検診における胃内視鏡検査の導入【新規】	胃がん検診において、胃 X 線検査に加えて胃内視鏡検査の導入することで受診率向上を図るもの。 市内受託医療機関で令和 5 年 10 月から開始。 【対象者】内視鏡検査：50 歳以上の市民、2 年に 1 回（参考 X 線検査：35 歳以上の市民、1 年に 1 回） 【自己負担額】4,300 円
骨髄等移植ドナー支援事業【新規】	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄・末梢血管細胞提供あっせん事業において、骨髄などを提供したドナーに対して助成を行うもの。 【助成対象及び助成金額】 1 助成対象：骨髄等を提供した日及び申請時に市内に住所があるドナー（以下支援対象ドナーという。）とする。ただし、骨髄等を提供した日から 1 年以内の申請者に限る。 2 助成金額：支援対象ドナーへの骨髄等の提供に要した日に対して助成を行う。 1 日につき 2 万円×骨髄等提供所要日数（ただし、1 人 1 回の提供に対し、10 日間を上限。）

がん患者アピアランスサポート事業【拡充】	令和3年10月から事業開始。令和4年度の申請件数が令和3年度実績を大きく上回ることから予算額を拡充させるもの。 【事業内容】 がんと診断され、その治療を受けた又は現に受けている者が、医療用ウィッグ、乳房補正具（補正下着、人工乳房のいずれか）を購入した場合、下記金額を補助する（所得制限あり）。 【補助金額】 (1)医療用ウィッグ：5万円 (2)乳房補正具 ア 補正下着：1万円、イ 人工乳房：5万円 （購入金額が上記補助金額に満たない場合は、購入実額を補助）
HPV 9 価ワクチンの開始【拡充】	既存の2価・4価ワクチンに加え、9価の HPV ワクチン（シルガード9）が定期接種として追加された。 【令和5年度対象者】 定期接種：平成19年4月2日～平成24年4月1日生まれ的女子 キャッチアップ接種：平成9年4月2日～平成19年4月1日生まれ的女子
新型コロナワクチン接種事業	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止及び重症化予防の観点から、新型コロナウイルスワクチン接種を実施する。 【事業内容】 コールセンターを設置し、個別医療機関（約60機関）等で接種を実施します。